

まくべつ

わたしたちのまち

(昭和58年2月1日現在)

人口 21,439 (+15)

男 10,621 (+24)

女 10,818 (-9)

世帯数 6,369 (+9)

—人のうごき(1月中)—

転入 71人 転出 71人

出生 29人 死亡 14人

||||||| 生きる喜びを創造するまち・幕別町 (新総合振興計画) |||||



58年

3

No.374

おもな内容

- 第1回まくべつ冬まつり行われる……………2・3
- 新成人にアンケート調査を実施……………4
- 広がる資源回収の輪 31公区が取り組む……………5
- 9,500万円が「灰」に……………6
- 健康カルテ②「カゼ」の予防……………6
- スポーツひろば……………7
- まちのニュース……………8
- 訪問、通信販売に注意……………9
- ふるさと館ニュース④……………10

各学校で校内スケート大会

町内各小中学校では、相次いで校内スピードスケート大会が開かれました。ここ、糠内小学校では、2月8日に児童73人全員が参加。厳しい寒さの中で、ふだんの練習の成果を発揮して、ゴールを目指していました。

●発行・幕別町役場 幕別町本町130番地 ☎(01555)4-2111
 ●編集・町民課広報広聴係☎内線111 ●印刷・ソーゴ印刷

第1回

まぐわつ冬まつり

家族連れで楽しむ

★ 5,000人



初めての冬まつりに 5,000 人の見学者がありました (カラオケ会場)

町民みんなで「雪と氷を楽しむ」と
二月二十日(日)に、第一回まぐわつ冬まつ
りが幕別運動公園で開かれました。
氷上綱引き大会、雪上カラオケ、氷上
人間ばんば、氷上ゲートボール大会など
の催し物に、地域や職場で造った雪像三
十基が立ち並ぶ近くで、五千人が歓声を
上げていました。



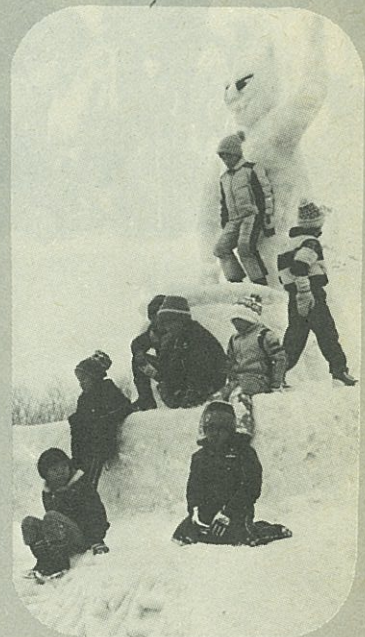
家では力仕事しないのに、この日だけは頑張りました



「乙女の姿、暫しとゞめん」雪の降る中で寒いなあノ



おじいちゃんやおばあちゃんには負けないぞ

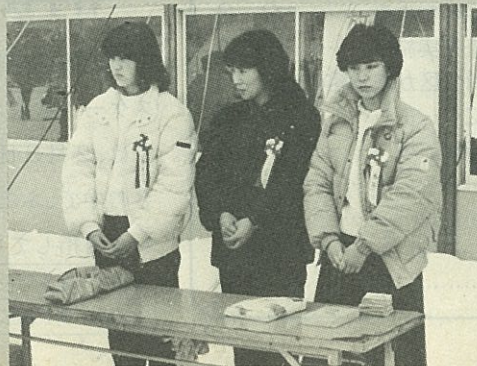


高く見晴らしがいいなあ...

冬まつりに花を添えたコンパニオン
一日ご苦労様でした



耳は暖かいけど、私の手袋が薄いよ



雪像を見るよりホットドッグの方がいいよ



「お父さん重たいよー」人間ばん馬競走

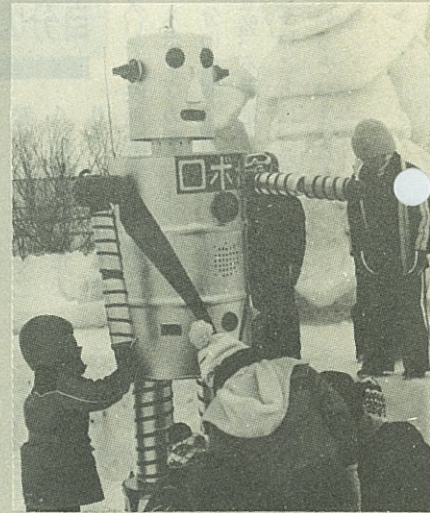


「ぬいぐるみ」もカラオケ大会に飛び入り参加



豊稔太鼓も特別出演、今年も豊作でありますように

子供たちの人気の的は
なんといっても氷のすべり台



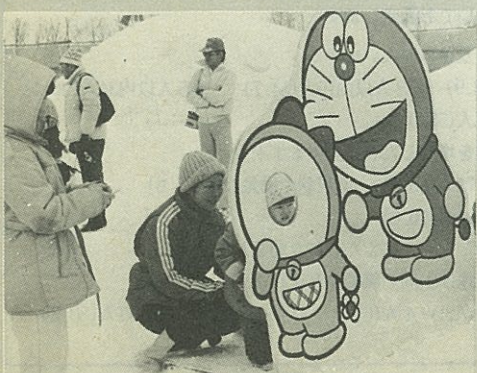
火災予防運動に一役買うロボ丸くん

「ちょっと前の人、早く歩いてちょうだい」歩くスキー



夜の雪像造りは寒いなあー、一杯ひっかけてくれればよかった

まっすぐカメラのほうを見るのよ



「寒いねー、お母さん」
甘酒を買ってもらいました

「大きなぬいぐるみだねー」
中に入っているのはだれだろう



成人式が、一月十五日に町民会館で百九十八人が出席して行われました。今年、成人を迎えられたかたは二百五十一人(男百八人、女百四十三人)です。
 昨年に引き続き、今年も成人式に出席された皆さんを対象に、アンケート調査を行いました。アンケート調査には、出席者の七六%、百三十五人が回答していただきました。皆さんも新成人になられたかたの、思っていることや考えていることを参考にさせていただきたいと思えます。

新成人に

アンケート調査を実施

半数近くが 帯広市へ勤務

問二では、新成人の「職業感」について、昨年の調査と比べてみました。回答者の七二・六% (昨年は六六・四%) が勤めていて、このうちサービス業に従事している人が最も多く二〇・〇%です。学生または、家事手伝いが二七・四%(同三三・六%)でした。勤務地では、昨年に比べ帯広市が一四・四%減り、町内で勤務している人は七・六%増えました。

また、現在の仕事に満足している人は一四・二%増え、別な仕事をしたと答えた人は一三・五%減りました。さらに、「別な仕事をしたい」と答えた人の理由は、仕事が自分に合わないという人が二七・

三% (昨年は七・〇%)、給料が安い二四・二% (同三三・六%)、職場の人間関係一八・二% (同二一・六%) で、仕事で自分に合わないという人が、昨年に比べ二〇・三%も増えたのが特徴でした。

44.5%が 自分の余暇に満足

問三は、「趣味・余暇の過ごし方」について、昨年の調査と比べてみました。

趣味では、音楽鑑賞が最も多く二八・四%で、昨年よりも一〇%増えました。

また、次いで、映画鑑賞、車、旅行、読書、スポーツの順になっています。自分の余暇に満足しているが四四・五%、不満足が一四・二%で、満足が多いことは、楽しい人生を送っているといえます。

55%が 友達は6人以上

問四は、「友達について聞いてみました。この調査は、今年初めて調査したものです。日常つきあう友達は何人いますか」の間に、最も多いのは六人以上で五

また、サークルに入っているかの間では、入っていると答えた人が一八・五% (昨年は二二・六%)、入っていないは八一・五% (同七七・四%) になっています。さらにサークルに入っていない人で、今後入りたいと答えた人は三五・六%、入りたくないが六四・四%で、昨年とほぼ同率です。

五・〇%、五人以内二六・四%、三人以内一四・七%となっています。友達がいないと答えた人が三・九%ありましたが、比較的多くの友達を持っていることがわかりました。さらに、今以上に友達を増やしたいと答えた人は五三・八%、現状でよいと答えた人は三五・六%、わからないが一〇・六%でした。

また、「友達を増やしたい」と答えた人で、同じ職場という人が一三・二%、別にこだわらないが八〇・三%、近所の友達がよいが六・六%でした。
 なお、「自分の余暇に不満足」と答えた人に、どうすれば満足しませつかの記述式の間に、一人も答えてくれなかったのが残念です。

新成人アンケート調査結果 ()は%

問1 あなたは

- ①男52人(38.5) ②女83人(61.5)

問2 あなたの仕事についてお聞きします

1) あなたの職業は

- ①農業13人(9.6) ②建設業5人(3.7) ③製造業7人(5.2)
 ④卸売・小売業8人(5.9) ⑤サービス業27人(20.0)
 ⑥公務員5人(3.7) ⑦学生24人(17.8) ⑧その他46人(34.1)

2) あなたの勤務地

- ①町内45人(37.5) ②帯広市57人(47.5) ③その他18人(15.0)

3) あなたは現在の仕事に満足していますか

- ①満足している72人(58.1) ②別な仕事をした33人(26.6)
 ③わからない19人(15.3)

4) 前問で②別な仕事をしたと答えた方にお聞きします

- その理由は
 ①給料が安い8人(24.2) ②仕事で自分に合わない9人(27.3)
 ③職場の人間関係6人(18.2) ④通勤が大変1人(3.0)
 ⑤その他9人(27.3)

問3 あなたの趣味、余暇の過ごし方についてお聞きします

1) あなたの趣味は

- ①音楽鑑賞44人(28.4) ②映画鑑賞26人(16.8) ③車21人(13.5)
 ④スポーツ17人(11.0) ⑤旅行14人(9.0) ⑥読書13人(8.4)
 ⑦その他20人(12.9)

2) 自分の余暇に満足していますか

- ①満足57人(44.5) ②不満足18人(14.1) ③どちらともいえない53人(41.4)

3) あなたは何かサークルに入っていますか

- ①入っている24人(18.5) ②入っていない106人(81.5)

4) 前問で②入っていないと答えた方にお聞きします

- 今後サークルに①入りたい37人(35.6) ②入りたくない67人(64.4)

問4 あなたの友達についてお聞きします

1) 日常つきあう友達は何人いますか

- ①0人5人(3.9) ②3人以上19人(14.7) ③5人以上34人(26.4)
 ④6人以上71人(55.0)

2) 今以上、友達を増やしたいと思いますか

- ①増やしたい71人(53.8) ②現状で満足47人(35.6)
 ③わからない14人(10.6)

3) 前問で①増やしたいと答えた方にお聞きします

- 増やしたい友達は①同じ職場の友達がよい8人(13.1)
 ②近所の友達がよい4人(6.6) ③別にこだわらない41人(80.3)

広がる資源回収の輪

昭和57年に資源回収を実施した公区(団体)は、昨年よりも12公区多く、31公区が実施しています。実施した公区の内訳は、公区活動の一環としてが19、婦人部6、子供会6となっています。この運動がますます普及するようにと、町では協力金を交付しています。

31公区が取り組む

昭和57年 ゴミを資源にしたマチ

| 公 区 名 | 実践団体 | 回 収 実 績 | | 収益金の使途 |
|-----------|-------|---------|---------|-------------|
| | | 回数 | 金額 | |
| 旭 町 | 1 婦人部 | 4 | 20,465 | 婦人部活動資金 |
| 寿 町 | 1 子供会 | 7 | 13,400 | 子供会活動資金 |
| 寿 町 | 2 公 区 | 2 | 17,614 | 子供会、婦人部活動資金 |
| 南 町 | 1 婦人部 | 3 | 26,571 | 婦人部活動資金 |
| 緑 町 | 1 婦人部 | 3 | 10,000 | 婦人部活動資金 |
| 緑 町 | 2 公 区 | 12 | 62,980 | 公区記念事業積立金 |
| 緑 町 | 3 公 区 | 6 | 15,377 | 公区運営資金 |
| 緑 町 | 4 公 区 | 5 | 29,300 | 公区運営資金 |
| 新 町 | 子供会 | 2 | 20,687 | 子供会活動資金 |
| 相 川 東 | 公 区 | 3 | 9,318 | 公区活動資金 |
| 相 川 南 | 婦人部 | 1 | 2,389 | 婦人部活動資金 |
| 札内中央町1 | 公 区 | 9 | 62,711 | 公区運営資金 |
| 札内中央町2 | 公 区 | 3 | 51,174 | 子供会活動資金 |
| 札内中央町3 | 子供会 | 2 | 69,414 | 子供会活動資金 |
| 札内 豊 町 | 子供会 | 3 | 52,977 | 子供会活動資金 |
| 札内 泉 町 | 公 区 | 3 | 36,900 | 公区運営資金 |
| 札内あかしゃ町 | 公 区 | 3 | 31,477 | 婦人部活動資金 |
| 札内あかしゃ町南2 | 公 区 | 1 | 15,530 | 子供会活動資金 |
| 札内あかしゃ町中央 | 公 区 | 4 | 29,556 | 公区運営資金 |
| 札内 文京町 | 公 区 | 3 | 53,696 | 公区記念事業積立金 |
| 札内若草町 | 公 区 | 2 | 22,836 | 子供会活動資金 |
| 札内 桂 町 | 公 区 | 6 | 18,353 | 公区運営資金 |
| 札内共栄町1 | 公 区 | 5 | 39,273 | 公区運営資金 |
| 札内共栄町2 | 公 区 | 2 | 15,988 | 公区、子供会活動資金 |
| 札内共栄町3 | 婦人部 | 3 | 12,800 | 婦人部運営資金 |
| 札内 新北町 | 婦人部 | 5 | 58,215 | 公区運営資金 |
| 札内 桜 町 | 子供会 | 2 | 65,648 | 子供会運営資金 |
| 札内青葉町1 | 公 区 | 3 | 68,161 | 公区記念事業積立金 |
| 札内 西 町 | 子供会 | 3 | 19,042 | 子供会運営資金 |
| 札内 北 栄町 | 公 区 | 2 | 36,560 | 公区運営資金 |
| 糠 内 市 街 | 公 区 | 1 | 10,255 | 公区活動資金 |
| 31 公 区 | | | 998,667 | |

あなたの地域で資源回収を
資源回収に取り組み公区の輪が、どんどん広がっています。
資源回収は、省資源・省エネになるばかりでなく、収益金によって、地域の親ぼくや連携を深めることに役立つほか、ゴミの減量にも大きな効果が上がっています。
資源回収活動は「みんなが」が一番大切なことです。資源回収を上手に行うには、毎日の生活の中で、資源とゴミを区別しておく習慣をつけなければなりません。また、定期的に実施し、一人でも、そして、一世帯でも多く参加できるようにすることが、効果を高めるようになります。
あなたの公区(団体)でも、資源

町および、衛生会の話によると、ゴミの量は年々増加し、五十年と比べ、約二倍になっている。その増加の原因はいろいろあるとしても、ゴミを処理するための経費が町税で賄われており、そしてばく大であり、このまま推移すると、



札内文京町公区
厚生部長
佐藤 栄さん

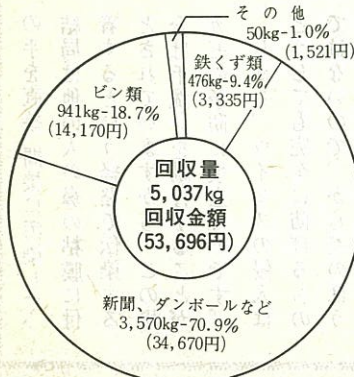
私の町内の資源回収運動

回収運動に参加してみませんか。実施の進め方などについては、役場総務部町民課へお問合せください。担当者が他の公区などの例などにより、ご説明申し上げます。

やがて幕別町が「ゴミ」で埋ってしまおうということになりかねない。この「ゴミ」の増大に歯止めをかける対策としては、資源の再利用しか考えられないと思います。
文京町公区には、厚生部が設置され、まず始めに関係資料の収集と実施公区の実態、回収業者との折衝から進めました。
具体的な実施案では、回収の目的や目標を明確にし、町内会の皆さんが容易に協力できるようにと、それに、持続性、弾力性のあることなどで、進んで参加できるように考え、役員会や厚生部で協議され、実施の段階に入りました。
回収が容易にできることを配慮して、指定集積場には「資源回収ステーション」の表示を二カ所設置、さらに、回収業者の引取りが容易

にできるようにと「鉄類」「紙類」「容器類」の大分類を、また、主要品目ごとに小分類をした、表示標を設置しました。
第一回目の回収は、六月三日(木)小雨の降る、朝六時に開始し、九時に終了しました。各種表示標が効果を発揮、持ち込み、受入れ、業者への引渡しが容易であった反面、地域に対する連絡、通知の不徹底や「町内お知らせ」の解釈の相違から、一般のゴミ集積所に持ち込まれたこともあったが、第一回目としては、まずまずの成果があったと思います。
その後、二回目、三回目と実施して、合計五万三千円余りの売却費となり、資料収集から始まった資源回収運動も、ようやく第一歩を踏み出すことができました。
なお、四回目は三月中に文京町公園で、資源回収を実施します。参考にしたことがあれば、私のところへ連絡ください。

文京町公区資源回収内訳



9千5百万円が、戻りに

昨年一年間の統計から

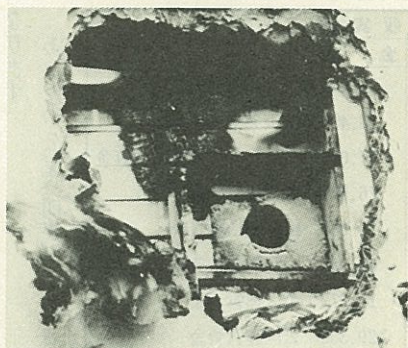
幕別消防署では、昭和五十七年一月から十二月までの火災発生状況と救急業務の統計をまとめました。

この統計によりますと、火災発生は前年より七件多い十三件で、損害額も激増し、また、救急車の出動件数も前年より十六件多い二百三十二件と増加したことがわかりました。

火災発生状況

昨年一月から十二月までの一年間に発生した火災は十三件(前年は六件)、内訳は建物十一件、車両二件、月別では一月、四月、九月がそれぞれ一件、二月と八月がそれぞれ二件、十一月と十二月がそれぞれ三件と、半数が十一月と十二月に集中して発生しています。損害額は総額で九千五百三十四万円(前年は九百三十八万円)と十倍に激増しました。

出火原因は、たばこの火の不始末、電球の過熱、石油ストーブの



注意しなければならない眼鏡石

不始末、たき火の飛び火がそれぞれ一件、たき火の不始末、ローンの火の不始末がそれぞれ二件、不明が五件となっています。このうち、大半はふだんから注意することによって、防ぐことができたと思われます。

火災予防運動

二月二十八日から三月十三日まで「火の用心、心で用心 目で用心」を統一標語に、春季全国火災予防運動を本町でも実施しています。

厳しい寒さが続く中で、火災が発生しやすい季節ということから、町民一人ひとりが、火の元に十分気をつけ、町内から火災をなくし

救急業務

また、公区などで消火器の取扱いの講習会などを開催するときは、消防署に連絡してください。消防署員が講習を行います。

昨年一年間に、救急車の出動要請があったのは二百三十二件と、前年より十二件の増。実際に病院へ搬送したのは二百十三件、二百三十三人で、三日に二件の割合で救急車のサイレンが鳴っていることになりました。

救急車の出動が最も多かったのは、急病の百二十一件(百二十一)で、次いで交通事故の四十八件(七十一人)一般負傷の十七件(十七人)労働災害の十三件(十三人)の順になっていますが、前年と比較してみますと、急病者が二十五人も増加しているのが、特に目だった点です。また、交通死亡事故は一件(一人)発生しました。

傷害程度別では、死亡六人、重症五十七人、中等症四十四人、軽症百二十五人で、このうち救急車を比較的必要としない者(お産、子供のかげ、引きつけ、鼻血など)が五十三人もいました。この点については、ふだんから自分の健康状態を知っておくことや、病気のけがをしたときに、緊急を要する状態かどうかをしっかりと見きわめることによって、防ぐことができたと思われています。

健康カルテ

21

カゼの予防

カゼの病原であるウイルスは、カゼの病人の呼吸器粘膜の中で、大量に増殖して、くしゃみや、せきなどの際に飛び散る分泌物の粒子に含まれて空気中に出て、それが他の人の呼吸器に吸い込まれるという経路で伝染していきます。

そこで、マスクやうがいによって、侵入してくるウイルスを防ぐことが考えられますが、電子顕微鏡でようやく見えるような、ごく小さいウイルスをマスクによって侵入を食い止めることや、うがいによって、のどの粘膜に着いたウイルスを流すということは、なかなか難しく、この方法では、あまり予防効果は期待できません。

むしろ鼻の粘膜に炎症を起こすライノウイルスなどは、鼻水の中に大量に含まれているので、鼻水をふいた手にウイルスが付着し、それが他の人の手を直接、間接に汚染して、結局は他の人の鼻の粘膜に付着するという経路で伝染するとされていますから、この場合は手洗いを励行することがカゼの予防に役立つのです。

しかし、ウイルスの侵入はどうしても完全に防げるものではないので、からだのほうに侵入してきたウイルスを抑える抵抗力をつけておくことが、最終的な予防法ということになります。

■体に抵抗力をつけ、カゼを予防する方法

①予防ワクチンによって、免疫状態をつくる方法。(現在はインフルエンザワクチンのみ)

②一般的な抵抗力をつける。呼吸器には、外界から侵入してくる病原に対して、いろいろな防除力を低下させますし、体を冷やすこともカゼを発病させるきっかけとなりますので、日常生活において、このような点をよく注意しましょう。

要は、いつも体調を整えて健康の状態を維持し、少しくらいのウイルスが侵入してきても、それに打ち勝つだけの体力をつけておくことが、いちばんのカゼの予防になるということです。



力走する小学生(町営リンク)

第13回全町スケート大会を開催

第十三回全町スケート大会が、一月三十一日に町営スケートリンクで行われました。成績はつぎのとおりです。(総合のみ掲載)

■男子

- ▽小一・①三井隆紀(札南小)②吉島直人(途小)③庄司光俊(幕小)
- ▽小二・①橋本尚人(幕小)②村尾

■女子

- ▽小一・①長田浩美(駒小)②亀井美由紀(明倫小)③柴野真理(明倫小)
- ▽小二・①藤原郁子(札南小)②柿崎由紀子(幕小)③額綱桃子(幕小)
- ▽小三・①長田恵美(駒小)②松岡淑恵(糠小)③桜井昌美(途小)
- ▽小四・①額綱美佐紀(幕小)②平野真紀(明倫小)
- ③酒井真理子(明倫小)▽小五・①堀口友美(幕小)②宮島美幸(幕

スポーツひろば

皆さんお元気ですか？

健康な体づくりのため

スポーツをしましょう。



- 秀人(白小)③松岡政広(明倫小)
- ▽小三・①久保基治(札南小)②昌谷寿宏(幕小)③石田雅彦(札南小)
- ▽小四・①中山仁(幕小)②鳥海正行(札南小)③長谷川隆仁(札南小)
- ▽小五・①久保一幸(札南小)②佐々木淳(幕小)③早津徳人(幕小)
- ▽小六・①勝見了(糠小)②山口和裕(札南小)③荒直行(幕小)
- ▽中一・①若月啓良(幕中)②竹内満晴(幕中)③金岡秀徳(幕中)
- ▽中二・①高橋隆治(幕中)②大橋修(糠中)③館和宏(糠中)
- ▽中三・①百武江(幕中)②酒井利明(糠中)③新田拓也(駒中)

スケートリンク納め

記録会が行われる

昭和五十七年度の全町スケートリンク納め記録会が、二月六日に町営スケートリンクで行われました。成績はつぎのとおりです。(一位のみ掲載)

■男子

- ▽小一・中山乃(幕小)▽小二・橋本尚人(幕小)
- ▽小三・橋本二裕(糠小)山下貴広(幕小)
- ▽小四・中山仁(幕小)▽小五・佐々木淳(幕小)
- ▽小六・勝見了(糠小)
- ▽中一・竹内満晴(幕中)金岡秀徳(幕中)
- ▽中二・亀井誠志郎(糠中)
- ▽中三・百武江(幕中)

■女子

- ▽小一・柴野真理(明倫小)
- ▽小二・山田恵子(糠小)柿崎由紀子(幕小)
- ▽小三・松岡淑恵(糠小)

第二回西幕別小学校スケート選手権大会が行われる

第二回西幕別小学校スケート選手権大会が、二月六日に町営札内スケートリンクで、三百四十一人が参加して行われました。成績はつぎのとおりです。(総合一位のみ掲載)

■男子

- ▽小一・三井隆紀(札南小)
- ▽小二・村尾秀人(白小)▽小三・久保基治(札南小)
- ▽小四・鳥海正行(札南小)
- ▽小五・久保一幸(札南小)
- ▽小六・山口和裕(札南小)

■女子

- ▽小一・長嶋知子(札南小)
- ▽小二・藤原郁子(札南小)
- ▽小三・桜井昌美(途小)
- ▽小四・大野弘美(途小)
- ▽小五・高橋みゆき(札北小)
- ▽小六・帰山和佳(白小)

全国スケート大会で入賞

千代で吉田敏和君(糠中)と佐藤みゆきさん(幕中)がそれぞれ五位に第三回全国中学校スケート競技大会が、二月四日に長野県軽井沢

札内桂町チームが優勝

第三回公区対抗バレーボール大会



熱戦を展開するママさん

スケートセンターで行われました。大会成績は、男子千代で吉田敏和君(糠内中)、女子千代で佐藤みゆきさん(幕別中)がそれぞれ五位に入賞を果たしました。

第三回公区対抗バレーボール大会が、二月十三日に幕別小学校体育館で、五チームが参加して行われました。成績はつぎのとおり。

- 優勝 桂町チーム
- 準優勝 青葉町第一チーム

町民交通傷害保険に加入しましょう！

- ・予約受付＝3月1日から
- ・実施期日＝4月1日から(1年間)
- ・保険料は月額40円で2口までOK
- ・保険金は1口当り最高100万円
- ・お申し込み、お問い合わせは役場町民課、支所、出張所へ



まちのニュース

・夜間スキー講習会を開催

二月十四日から五日間、明野ヶ丘公園で夜間スキー講習会を開催。連日の寒い中、百二十人が六時三十分からの二時間、指導員から指導を受けました。



・宝樹の花が咲きました

佐藤勇さん(旭町)宅で、六年前に背丈五尺ほどのを買った宝樹が八十センチになり、昨年十二月末からピンク色に近い花が咲きました。宝樹の花が咲くのは珍しいとのこと。



・刃物研ぎ講習会が行われる

刃物研ぎ講習会が、二月十二日に町民会館と札内福祉センターで行われました。包丁やはさみなどを、技能士のかたから指導を受けながら研いでいました。



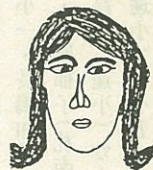
・剣道少年団で鏡開き

剣道少年団では、二月八日に青少年会館で鏡開きを行いました。この日は団員二十人が参加し、お母さんたちが作った「おしるこ」を食べ、一年間の精進を誓いました。

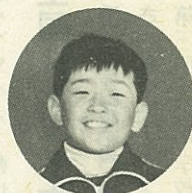


・お年玉年賀はがきで一・二等

今年のお年玉年賀はがきで、町内宝町の小室謙三郎さんが一等のカラーテレビ、また、南町の大井茂信さんは二等の自転車当りました。



お母さん



明倫小学校(2年) 佐久間篤志くん

ぼくのお母さん⑨ わたしのお父さん



お父さん



明倫小学校(2年) 牧田 富恵ちゃん

ぼくのお母さんは、いつもながしてごはんのようにをししたり、せんたくやそうじをしたり、とてもいそがしいから、少ししか休むひまがありません。それに、かすみとやすのとぼくが、おもちやであそんだ時、あんまりかたづけられないから、お母さんがかたづけてくれます。いまはスケート大会が何回もあるから、おべんとうづくりが大へんです。それから雪がとけたら、はたけしごとがはじまるから、いまよりもっといそがしくなると思っています。ぼくは、お母さんが好きです。お母さんがつかれてびようきになったらこまります。だからぼくは、かたづけやそうじをじぶんでやって、お母さんを少しでもらくにしてあげたいです。そして少しらくになったら、ぼくの大きなたまごやきときょうざをたくさんつくってもらいたい。

わたしのお父さんは、朝早くおきて、牛のちちをしぼったりえさをやったりします。そのあと少し休んでから、牛のびょうや体の本を見て勉強します。それが終わると、もう夕方になるので、また牛のちちをしぼったり、えさをやったり、まい日一しょうけんめいはたらいしています。お父さんは、いつもしごとばかりでつかれているから、わたしとおねえちゃんとおにいちゃん、子どものできるしごとを手つだっています。わたしは小さいので、少ししかできないけど、大きくなったら、たくさんやるうと思っています。お父さんは牛のほかに、はたけのしごともするので、春になったらもっといそがしくなります。だから、かぜをひかないで、これからもげんきではたらいしてもらいたい。

通信販売に注意

特にお年寄りのトラブルが多発

訪問販売や通信販売による問題が増えています。特に、お年寄りが一人で留守番をしているところへ「病気が治る」「幸せになる」などと、言葉巧みにお年寄りに特有の事情や心理に付け込んだものが多く、ついその気にさせられて契約してしまい、後悔するケースが



消費者生活相談所を開設

が目立っているため、十分に注意したいものです。相談内容の主なもの、通信販売の場合 ①届いた商品のイメージ、品質、性能が違う ②商品が届かない ③アフターサービスが悪い。訪問販売では ①教育委員会から来たと偽り教材を売り付ける ②福祉の名を使って粗悪なもの売る ③身元の不明確な販売など。

このようなトラブルを防ぐためには、通信販売の場合、注文する前に取引条件を確かめることが大切です。訪問販売の場合は、玄関に入れる前に訪問の目的を確かめることと、セールスマンの身元を確かめることです。

消費生活相談所の利用を

訪問販売や通信販売で、トラブルを未然に防止したり、買い求め

短歌

あゆみ会 一月詠草

元朝に「福よこい」と玄関をあけたる亡姑を思ひ出し居り

小山 利子

窓ぎわにやわら陽浴びて元朝に白のガーベラの花開きたり

塚田 常子

常づねは我を張りながら日暮らすも子が病みたれば夜毎夢みる

川田みつえ

運送屋の車庫前に住みいて朝あさを轟くエンジンの音に目覚むる

齊藤ヒデ子

前掛けをきりりと締めて二十度に凍れし朝の蛇口をひねる

高橋由貴子

た商品に対しての苦情を解決、相談に乗ってくれる、消費者生活相談所を開設していますので、お気軽にご相談ください。

相談日—毎週金曜日(祝日は除く) 時間—午後一時から三時まで 場所—消費者協会事務所(旧消防署二階)

統計功労者に

知事より感謝状

国勢調査、北海道農業基本調査

寄付者のお名前

■町社会福祉協議会へ……

▽札幌民謡友の会(なかよし会) から二万円 △沖田雅継さん(寿町) から拾得金が返還されたため千円

▽角常子さん(棟内)から娘の就職を記念して身障者福祉基金へ一万八千八百円 △匿名のかたから千円

▽竹林ヒナさん(札幌新北町)から全快祝を廃止して五万円、幕別特別養護老人ホームへ五万円 △那

司培穂さん(上稲志別)から妻が生前お世話になりましたと三万円

■老人クラブへ……

▽山田弘さん(新川)から明野・新川長寿会へ一万円 △坂本博さん(新川)から明野・新川長寿会へ五

千円 △加藤照正さん(明野)から明野・新川長寿会へ五千元 △早乙女昇一さん(相川)から相川南老

友会へ二万円、幕別老人クラブへ

など、永年、統計調査に功績のあったみなさんに、北海道知事から感謝状が贈られ、一月二十六日に開かれた北海道農業基本調査説明会の席上で、大石町長から伝達されました。感謝状を受けたのは、つぎのみなさんです。(敬称略)

▽五年級・高階覚(日新辻勝(南勢) 西田幸雄(日新) 六郎田明正(明倫) △十年級・鈴木英治(依田) 谷内政夫(明倫) 山本鐵男(五位) △二十年級・橋本俊光(五位) 山口澄男(途別)

一万円 △橋本雅弘さん(棟内)から棟内老友会へ五万円 △末吉保さん(西猿別)から幕別老人クラブへ三万円 △平林仙之助さん(駒島) から駒島老人クラブへ二万円

▽村上寿弥さん(札幌あかしや町) から鉄南長寿会へ三万円 △中島英市さん(南町) から南町老人クラブへ二万円 △川田武市さんから相川北一心会へ一万円 △大和講真隆寺支部から幕別老人クラブへ一万円 △新田登さん(駒島) から駒島老人クラブへ三万円

▽大和講幕別支部から幕別老人クラブへ二万円、旭町老人クラブ、宝町老人クラブ、軍岡老人クラブへそれぞれ一万円

■婦人部へ……

▽早乙女昇一さん(相川)から相川南婦人部へ二万円 △鎌田哲生さん(相川) から相川南婦人部へ一万円

ストップ・ザ・交通事故

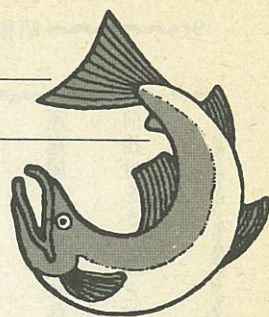
— 10 —



交通安全推進委員 千葉良治さん

交通事故防止は一人ひとりの自覚に勝る対策なし

交通安全というだれにもなじみ深い言葉を、朝に夕に間断なく耳にし、口にして長い歳月が流れています。そして、国・道・市町村、各種団体、地域、職場などで真剣に取り組み、人間の全知全能を結集し、ばく大な労力と費用を投じ、必死の諸対策もむなしく、悲惨、残酷な交通事故が続発しているのが実態です。その要因は、簡単明りようで、一人ひとりの自覚の欠如以外の何物でもないことは、否定し得ない事実です。運転者、歩行者(自転車)がおのののルールとマナーを厳守し、事故の恐ろしさ、悲惨さを肝に銘じ、各自が交通事故防止に徹し、自覚することと、自分の立場(通行手段ごと)において、責任ある行動をすることが、他の何物にも勝る実効ある対策です。



カワセミ・スズメくらいの大きさで鮮やかな羽色。矢のように飛び、水中の魚を見つけると急降下して捕える

僕の探鳥ノート ①

幕別のトリたち

北海道には鳥が多い。特に道東地方は全国有数の探鳥地である。しかし、その数はやはり年々減少している。

昔は川辺ならどこにでもいたカワセミ、今ではほとんど見ることのできない鳥になった。別名「飛ぶ宝石」と言われるコバルトブルーのすごいやつ。その美しさは絶品である。そのカワセミ、幕別町内の数カ所では今も見られる。

初夏の夜、山のほうから「ピーヒョー、ピー、ヒョー」と、まるでだれかが口笛を吹いているような気味の悪い鳴き声を聞く。トラツグミという鳥である。子供のころ、夜中に目が醒めてこの鳴き声を聞くと恐ろしくて眠れなかった思い出がある。ちよっと前の映画のキャッチフレーズに「又エの鳴く夜は恐ろしい」というのがあったが、この「又エ」がトラツグミの俗名と知ったのは最近である。毎年一〜二月になると千代田えん堤や西幕別方面では、なんとオジロワシの姿を見ることができ、翼を広げると2メートル以上にもなるバ

カデカイワシで、今年も二月に入ってその姿を見ることができた。獲物の魚をしっかりと握ったまま数羽のカラスに追われていた。都市化されてきているとはいえない

ビデオ新構成で



構成に変わります。

初めの五分間は「ちよっと前のニュース」——先月の出来事を取材したもので、幕別の四季のようすや催しを紹介しします。

次に催しの予告や、サークルの会員募集のお知らせです。撮影や編集はふるさと館のスタッフが行ないます。利用したい人はふるさと館へ連絡してください。一切無料。ただし、営利を目的とするものはお断りします。

このお知らせの後、今までに作ってきたのと同じような自然や歴

ふるさと館のホールにビデオ・プロジェクトがエクスターがあります。スイッチを押すと幕別の歴史や自然をテーマにしたビデオテープが回り画面に映し出されます。

三月からは装いを新たに



横山 渡

幕別では、めずらしい鳥がまだ見られる。街に近い割には絶好の探鳥地なのである。

(よこやま わたる—日本野鳥の会十勝支部会員)

サーモン

通信

29

昨年十一月下旬から各学校で続けられているサケ飼育は順調です。

どの学校の水槽も元氣よく泳ぐサケでいっぱいです。餌づけもうまくいき、稚魚たちは海へ旅立つ日に備えて、よく食べよく泳ぐ毎日です。

水槽という小さな世界であっても、強い弱いはだんだんはつきりしてきました。相川小学校(写真・上)では卒業

業式前日の三月二十四日に旧途別川へ放流する予定です。子供たちにとつてサケは、かわいい友だちになったよう、ちよっぴりなごり惜しう。

養鯉場が近くにある途別小学校(写真・中)では、以前から鯉の飼育をしており、その経験がサケ飼育にも生かされています。

飼育二回目の幕別中学校(写真・下)では五百匹の稚魚が泳いでいます。「三年時に何匹帰ってくるかな?」と、教室でも職員室でも帰郷予想の話題で持ち切りです。三月下旬から四月初旬にかけて、各学校ともそれぞれ近くの川で放流する予定です。



新シリーズは「路傍の神——開拓と信仰」

シリーズ「思い出の学校」は、前号をもって一応の区切りとします。当初は統廃合となった学校を対象とする予定でした。しかし、「今ある学校でも昔の様子を調べてみるのも大切だ」とか、「アイヌ人学校もぜひ調べたい」など、郷土史スタッフの研究熱心さが当初の枠を越えた部分もありました。統廃合の学校と言えば、戦後の新制中学も小学校の歴史から見ると大変短い間にその役目を終えている学校があります。これについては、今後の課題として残しておきます。

内容的には、行事的なものをさげ、出来るだけエピソードを中心に綴る努力をしてきました。そのため、数多くの卒業生の方々や学校関係者に、多忙の中、お手数を煩わせました。とても感謝しております。この場を借りてお礼を申し上げます。

さて、次年度の計画ですが、現在その中味を練っている所です。テーマは「路傍の神——開拓と信仰」を取り上げて行きたいと思っております。今後とも御支援・御声援をよろしくお願い致します。

(郷土史スタッフ一同)

今月のビデオ ■ちよっと前のニュース...まぐべつ冬まつり/回想・白人小学校(ゲストは29回卒業生 磯部判治さん)